

海神会 関東支部便り (No.19)

海事科学部から海洋政策科学部（仮称）へ

海神会関東支部 支部長 道浦 馨

神戸大学は、7 月 26 日の学長定例会見で 2021 年 4 月に「海事科学部」を発展的に解消し、新たに『海洋政策科学部(仮称)』を設置する予定と発表しました。

(http://www.kobe-u.ac.jp/info/usr/press/press_20190726.html)

1917 年私立川崎商船学校の設立により神戸に於ける海技者教育が始まり、その後の神戸高等商船学校及び神戸商船大学の時代が 86 年間、2003 年の神戸大学との統合後の海事科学部としての時代が 18 年間となります。

森本前支部長が 2016 年 11 月発行の関東支部便り(No.13)に「商船学部から海事科学部へ」と題する文を巻頭言で述べられて以来余り日時を経ていませんがその変化には目まぐるしいものを感じます。

神戸大学の資料によると「海洋政策科学部は、海洋開発や海洋産業の創出・振興を図るとともに、海洋ガバナンスに係わる政策立案など、国際海洋社会を牽引できる海のグローバルリーダーとエキスパートの養成を目標としています」とあり、これは「海技者養成教育機関」から「海事関係者教育・研究機関」への大きなブレイクスルーになるものと期待しています。

昨今の風水害に対する行政機関の危機管理能力の劣化を目の当たりにして、世界中の海上及び船上に於いて海技者が経験した自然現象に対する危機管理はもちろん戦争行為・テロ行為・海賊行為等に対する危機管理上の経験や知見をいわゆる陸(オカ)の人達と共有出来れば危機管理能力の向上に寄与するのではと思います。陸の人達が海技者の世界を見る機会は殆ど無いでしょうし、海技者の方も陸の人達にその知見や経験を発信して来なかったし政治的な発言力も有りませんでした。

このような状況のもと、海事関係者と陸の人達との経験や知見の共有が進むことにより、種々の問題解決に寄与し、海洋リテラシー、海洋リベラルアーツに基づく海洋政策などの情報発信基地となることを希っています。

目次

海事科学部から海洋政策科学部(仮称)へ.....	1
1. 関東支部定時総会報告	2
2. 令和元(平成 31)年度上期活動報告・下期活動予定.....	3
3. 令和元(平成 31)年度上期決算状況	4
4. 定時総会・懇親会の出席者とスナップ.....	5
5. My 近況	7
6. 会員往来	14
7. 会員の広場「Bridge」	14
8. 黎明の鐘	18
9. 事務局からのお願い	24

1. 関東支部定時総会報告（7 月 4 日）

1. 1 海神会本部総会[5/25(土) 於深江]の報告

令和元年度 海神会理事会・総会・懇親会が 5 月 25 日(土)に、理事会が梅木 N ホールで 14:00～15:00、総会が梅木 Y ホールで 15:00～16:30 に理事・監事・他役員 44 名、会員 11 名、総会では計 55 名の方々の出席があり開催されました。以下の第 1 号～第 4 号議案を審議し、承認しました。

第 1 号議案:平成 30 年度事業報告及び収支決算書並びに特別会計、

第 2 号議案:令和元年度事業計画(案)及び収支予算(案)並びに特別会計予算(案)

第 3 号議案:会長、理事、評議員、その他役員の改選、選任について

N17 小見山 純郎会長の退任に伴い N18 片岡 徹氏が理事会の推薦を受け新会長に就任、小見山 純郎会長は相談役に委嘱、E21 神杉 恵助理事は監事に就任、E13 神吉 行彦氏は顧問に委嘱、

D07 三輪 誠氏は評議員を退任し理事に就任、N12 鈴木 由雄氏は死去により評議員を退任

第 4 号議案:記念クラス会支援について現行の記念クラス会支援制度を見直し、今年度(2019 年)以降、記念クラス会支援は卒後 40 周年(入学後 44 年)記念の 1 回のみとする。但し、経過措置として本年(2019 年)より 2028 年迄の 10 年間、(N14 期、E14 期)～(N23 期、E23 期、A3 期)の各クラスに於いては 50 周年記念クラス会支援を継続する。運用は、別に定める「記念クラス会支援規程」によるものとする。

母校（神戸大学 海事科学部・海事科学研究科)の近況について

海事科学研究科長・海事科学部長 内田 誠先生より、海洋系新学部等設置準備 WG に於いて、学内議論が進行中であり、本年 7 月中にも詳細が公表される予定とのこと。(7 月 26 日記者発表)

【海神会賞の受賞者】

引き続いての懇親会では昨年度活躍した次の方々に栄えある海神会賞が授与されました。

☆文化・スポーツ賞:オフショアセーリング部

チーム神戸大学代表 山崎 優太さん グローバル輸送科学科航海マネジメントコース4年生

同 クルー 村田 英慎さん 海洋安全システム科学科 3 年生

同 クルー 前田 真穂さん マリンエンジニアリング学科 2 年生

2019 年秋にフランスで開催される世界学生クルーザーヨット選手権の 2 連覇を目指し、3 月 1～4 日にかけて神奈川県葉山沖で開催された全日本学生外洋帆走選手権(ANIORU'S CUP 2019)に出場し、2 位チームに 16 ポイントの大差をつけて見事優勝

1. 2 平成 30 年度事業並びに会計報告・会計監査報告

海神会関東支部便り No.18 に掲載の議案通り承認されました。

1. 3 役員改選

関東支部の役員は任期満了を迎え、今期(令和元(平成 31)・2 年度)の役員および担当は以下の通り承認されました。退任および新任以外の役員は再任です。

支部長: 道浦 馨(E15)

事務局長: 田中 貴雄(E13) 会計事務担当: 桑田 守(E15)

理 事: 竹橋 由進(N11)、井手 祐之(E14)、上野 俊雄(N15)、三木 洋(E19)、
神田 一郎(E20)(新任)、平塚 惣一(N21)、木下 広一(A3)(新任)

監 事: 丸山 博史(E21)(新任)、中村 紳也(N24)

顧 問: 森本 靖之(N 7)の各氏です。皆様のご支援・ご鞭撻のほど宜しくお願いします

役員退任

顧問: 広瀬 斉(N4)、理事: 刈屋 澄世(N13)、理事: 須賀 弘(N13)、長い間、ご支援有難う御座いました。旧に倍してのご指導・ご支援宜しくお願いします。

1. 4 令和元（平成 31）年度事業計画並びに会計予算

海神会関東支部便り No.18 に掲載の議案通り承認されました。

1. 5 神戸大学学友会（東京支部）・東京六甲クラブ関係

学友会東京支部代議員：N7 森本 靖之、E13 田中 貴雄、E15 道浦 馨、N21 平塚 惣一
東京六甲クラブ 副理事長：N7 森本 靖之、理事：E13 田中 貴雄、E15 道浦 馨

2. 令和元（平成 31）年度上期活動報告・下期活動予定

2. 1 上期活動報告

- 1) 5 月 25 日 海神会総会に役員のパ遣：道浦支部長、田中事務局長、
- 2) 5 月 30 日 関東支部便り No.18（約 1,000 通）の袋詰めを兼ね、幹事会の開催
- 3) 6 月 17 日 本部からの支部運営支援金 300,000 円を受領し、支部運営経費に充当
- 4) 7 月 4 日（木）に神戸大東京六甲クラブ会議室で平成 30 年度定時総会を開催
16 時～理事会
17 時～定例総会（参加者数 32 名）
18 時～懇親会（参加者数 35 名）
- 5) 海洋会行事に協力（行事紹介、海洋発送の袋詰め、ボランティア行事、万歩の集い、etc.）
①第 126 回万歩の集い ～自由が丘から等々力溪谷・上野毛迄～2019 年 6 月 30 日（日）
②第 127 回万歩の集い ～幕末の外国公館跡巡り～2019 年 9 月 29 日（日）
- 6) 東京六甲クラブ／学友会東京支部行事に協力（森本副理事長、田中理事、道浦理事、平塚代議員）
① 5 月 31 日（金） 東京六甲クラブ／学友会東京支部代議員総会に出席
② 5 月 9 日（木）・6 月 7 日（金）・9 月 9 日（月） 理事会/学友会役員会に出席
③ 7 月 26 日（金） ビアパーティー、
④ 8 月 1 日（木） 学長講演の報告

研究大学としての発展を目指す神戸大学について、文理融合をさらに推し進めることの重要性について語られました。科学技術イノベーション研究科は最先端の研究を事業化まで推し進めることを目指して理工医系の研究者と経営や法律の専門家が協力し、ベンチャービジネスを立ち上げている。データサイエンスの教育研究もますます力を入れているとのこと。

海事科学部に関しては、海洋開発や海洋産業の創出・振興を図るとともに、海洋ガバナンスに係わる政策立案など、国際海洋社会を牽引できる海のグローバルリーダーとエキスパートの養成を目標とした海洋政策科学部（仮称）（定員 200 名）を 2021 年 4 月設置予定である。コース/領域は、海技ライセンスコース（定員～90 名）、主として学ぶ領域には、海洋ガバナンス、海洋基礎科学、海洋応用化学となっていることなどがスライドで紹介されました。研究大学としての着実な発展が今後ますます進展することを期待しつつ、武田学長のご活躍を祈ります。引き続きの懇親会では学長とのフランクな会話、会員同士の交流に歓談の華が咲きました。

⑤ 事務局行事、同期会、クラス会等の開催&参加

- 10) 関東支部メール便（できるだけ会員に関するニュース）をテンポラリー（目標 1 回/月）に約 300 人強の会員にメール
①海事科学部の Web、ニュースなどの紹介
②会員の活動紹介
③東京六甲クラブ／学友会東京支部行事の案内 学友会ニュースレターの添付
④海洋会行事の案内

2. 2 下期活動予定

上期活動を継続し、他の主なものは以下の通りです。

- 1) 10 月 3 日 次期事務局の件で幹事会の開催
- 2) 10 月 6 日・7 日 宿泊懇親会 (15 人)・第 4 回関東支部ゴルフコンペ (15 人) を実施
- 3) 10 月 26 日 評議会に役員の派遣：森本顧問、道浦支部長、田中事務局長、木下理事
- 4) 10 月下旬 24 ページ立てで“My 近況”、“会員の広場”、“黎明の鐘”欄を掲載した関東支部便り No.19 の発行
- 5) 11 月初旬 関東支部便り No.19 (約 1,000 通) の袋詰めを兼ね、幹事会を開催
- 6) 2020 年 3 月 19 日(木) 第 6 回ゴルフコンペを佐倉カントリークラブで、OUT スタート 9 時 3 分より 6 組の予定。プレー料金はキャディー・昼食付き税込みで¥14,900 の見込み。
- 7) 海洋会行事に協力 (行事紹介、海洋発送の袋詰め、ボランティア行事、万歩の集い、etc.)
 - ① 海洋会 (Web サイト:<http://www.kaiyo-kai.com/category/news-from-secretariat>)
 - ② 海洋会ボランティアクラブ (明治丸グループ、海洋会支援グループ、etc.) での活動
- 8) 東京六甲クラブ／学友会東京支部行事に協力：前期からの継続
 - ① 12 月 20 日(金)；忘年会、1 月 11 日(土)；新年互礼会
 - ② 12 月 6 日(金)、3 月 6 日(金) 理事会/学友会役員会
- 9) 関東支部メール便：前期からの継続

◆その他

関東支部便り、ゴルフコンペの報告/予定等は海神会ホームページの関東支部のページにアップロードしています。

3. 令和元 (平成 31) 年度上期決算状況

3. 1 金額の纏め

前期繰越金(A)	1,034,353		
前期終身会費(B)	970,000		
上期終身会費収入(C)	140,000		
上期収入合計(D=d1+d2+d3+d4)	439,919	上期支出合計(E=e1)	341,664
内訳 支部運営支援費(d1)	300,000	経費(e1)	341,664
支部年会費(d2)	122,000		
雑収入(d3)	1,009		
懇親会会費収入と費用の差額(d4)	16,910		

累計収支差額(A+B+C+D-E) 2,242,608 (預金 2,242,608 + 現金 0)

3. 2 決算概要

収入：1,549,919 円と計画 1,690,000 円に対し 91.7%の達成

(終身会費 + 支部運営支援費 + 支部年会費 + 雑収入)

内訳

支部運営支援費は 300,000 円と計画通りであり、終身会費は 140,000 円と計画に対し 20,000 円のプラスで、期初の繰越終身会費 970,000 円と合わせ 1,110,000 円となった。

支部年会費は 75 名の会員からの納入で 122,000 円となり、9 月末現在の終身会費から年度末に行う繰入操作と合わせても 233,000 円で計画 300,000 円に対し 77.7%である。

雑収入は、総会後の懇親会会費収入と費用 (酒、料理代) との差額の 16,910 円と利息 9 円

の合計 16,919 円であるが、今年度は更に、つり銭ミスで+1,000 円が加わり 17,191 円となった。

支出：341,664 円と計画 660,000 円に対し 51.8%の執行（前年同期は、310,835 円、48.2%）となった。

下期の活動を計画通り進めれば、消費税増税の影響もあり年度では若干赤字が見込まれる。以上の結果累計収支差額は 2,242,608 円(9 月末預金残高と同じ)と前年同月 2,187,526 円よりも約 55,000 円プラスで推移している。

プラス推移の要因は、収入の所で説明したように、終身会費納入者が計画に対し 2 名（金額で 2 万円）多かったことと、雑収入（懇親会収支差など）が主である。

下期の課題は、支部年会費の未達成部分 67,000 円+47,000 円(先納分)を納入してもらうことである。（会計上は単年度処理していますが、入金実績は別途管理しています）

次年度以降については、消費税増税に伴う各種値上げ（郵便代、郵便振込手数料、支部便り発送費）などへの対策検討が求められる。

尚、終身会費を除いて、9 月末現在で来年度以降の年会費を先納して頂いている方の累積人数は 80 人で累積額は 233 千円に上っています。

4. 平成 30 年度 定時総会・懇親会 出席者とスナップ

総会後には会議室を懇親会仕様にセットし、引き続いて懇親会を開催しました。今年は 1 期生から 24 期生まで 35 名の出席で、大先輩である加藤さんの乾杯の音頭で懇親会は始まりました。立食パーティーで先輩・後輩分け隔て無く自由に歓談し同窓生の確認したり、仕事の現況を話したり、思い出話に盛り上がったりと全方位の同窓会となっておおいに盛り上がりしました。ビール、酒、焼酎あるいは烏龍茶で喉を潤し、歓談に大輪の華が咲き、新任理事の木下さんが中締めをし、お開きまでの時間一杯楽しみました。会場には、未だ未だ余裕がありますので、もっと多くの方の参加が望まれます。

出席者（合計 36 名 注） は総会のみ、 は懇親会のみ出席者 敬称略）

N01 加藤 満	N04 庄司 貞義	N04 廣瀬 齊	N04 門間 善四郎	N05 吉川 渉
E06 武井 俊平	E06 西村 辰朗	E06 松浦 孜	N07 河原 好功	N07 福知 武
N07 森本 靖之	E08 秋葉 光宏	E08 東 紀元	E08 山下 恒彦	N11 小林 英司
N11 竹橋 由進	N11 花田 兵六	E11 井崎 宣昭	N12 高石 勝	N12 富久尾 義孝
E12 井上 二士夫	N13 中田 雄一郎	E13 田中 貴雄	E14 井手 祐之	E14 岡本 健之助
E15 道浦 馨	N15 上野 俊雄	E15 桑田 守	E20 神田 一郎	N21 平塚 惣一
E22 油原 朗	A03 木下 広一	A03 福田 秀記	N24 中村 紳也	A05 井上 孝昭

08W 井上 一規

出席予定であったが、生憎欠席の連絡を頂いた方

N03 袴田 宏	N05 廣田 孝夫	E08 北澤 俣一	E19 三木 洋	E20 佐田 昌弘
E21 丸山 博史	N26 楠木 智			

懇親会のスナップ







5. My 近況（発送のときに宛名と同封の My 近況はがきの印字氏名と異なるケースがあり、異なる My 近況の節、誤読・誤記等ある場合は、ご容赦願います）

N01 加藤 満 歳相応に気力・体力 とうしました。何とか頑張って生きています。

N01 塩川 徹司 歳をとるにつれ足腰の衰えを痛感していますが、日常生活に支障がない程度の健康は保てています。

N01 高瀬 一郎 86 歳になりました脊椎管狭窄の手術をしましたが結果は全く駄目でした。毎日の外出は殆ど不可能になって来ました。悲しいけれど死へ一歩ずつ進んでいる事が判ります。諸兄は家庭円満に過ごされ円満な相続に進まれる事を祈ります。争族になったら悲劇そのものです。合掌

E01 斉藤 亨 晴耕雨読の毎日を過ごしていると云いたい所ですが、なかなか悟れない日々を過ごしています。皆々様の活躍を祈ります。（消印から推測）

E01 藤井 正史 この 6 月で 86 歳になりました。足腰の衰えは進んでいますが、年なみの生活を送っています。

E01 降幡 泰夫 現在、胃ガンを患い闘病中です。ご盛會を祈ります。

N02 海道 俊雄 晩今、億劫になり欠席します。

N02 中井 貞夫 7 月 4 日の総会、懇親会には欠席します。

E02 人見 武 同期の人の死亡が多くなっていますが、小生はいろんな病気をかかえながら何とか無事に令和の時代へ乗り越えた感じです。宜しく伝えて下さい。

N03 日下 治夫 干支 7 迎目、歳相応な生活、歩くのは遅く追い抜かれる現状です。夜間の歩行 少々不安。当会の関係者の皆様、ご苦労さまです。益々の繁榮を祈ります。欠席で申し訳ありません。

N03 杉本 博彦 Cadillac に乗り三鷹市のコミュニティセンターに行き「介護予防健康体操」の講習を受けたりしています。両膝の具合が宜しくなく、塗り薬・灸等をして杖の助けを借りて歩いています。免許は先月自主返納しました。これで認知症にならない限り車で他人を殺傷する事はありません。（キャデラック＝電動二輪チャリです。）

N03 高梨 泰男 老いのため足腰が弱くなり歩く事が苦痛となりました。

N03 袴田 宏 事務局長様いつもお世話になり有難うございます。昨年は体調勝れず落ち込んでいましたが今は元気です。歳相応に体力は落ちてきていますが、週 3・4 回近くのプールで水中ウォーキング等に体力維持に励んでおります。7/3 電話で体調不良による欠席

N04 庄司 貞義 体力と云える程の勢いもなくなりましたが、何とか近場をうろついております。”神戸商船大学”を極自然に感じ取れる場ですので喜んで参加します。皆様の御健康を御祈り申し上げます。

N04 廣瀬 齊 海洋会ボランティアクラブに神戸の卒業生がいません。ぜひ入会していただきたく願います。よろしくお願いします。

N04 田家 宗雄 年令相応に元気です。毎週地区の同人会にて囲碁を楽しんでいます。毎日ママチャリにて約 30 分間サイクリング後腰痛のリハビリに通ってる現況です。

N04 本村 泰晴 今年も 5 月 15 日観音崎で行われた戦没船員追悼式に参列しました。令和の時代も海の平和が続く事を祈念してきました。

- E04 北村 道夫 何とか元気で過ごしています。スポーツ観戦など外出を多くする様にしています。訃報も多くなり心細くなりがちですが、一日一日と思って過ごす様にしています。
- N05 廣田 孝夫 いつも種々お世話ありがとうございます。題記総会、懇親会に参加しますからよろしくお願いいたします。7/3 メールで体調不良による欠席
- N05 吉川 渉 17:00 の総会には遅刻するかも知れません
- E05 吉村 耕治 心身共に健康な心算ですが、両脚の痺れが取れなくておじん歩きをしています。でもジムに通い毎日 2 万歩くらいは歩いて頑張っています。皆様によろしく。
- N06 大谷 浩二 深江の校舎、白鷗寮を離れて 58 年来 外観は未だ元気そうですが寄る歳波には抗し難く心身ともに病気を抱える昨今です。為に東京も随分と遠い所に感じられ、海神会にも欠礼を重ねていますが、幹事の皆様に謝意を表するとともに、ご盛會を祈ります。
- N06 中川 靖之 傘寿を迎え、歳相応の元気さで家庭菜園、サックス、旅行、ゴルフ、食事会など楽しみながら過ごしております。
- E06 石井 毅 E06...の連中の意向を聞いて出欠ー？
- E06 立川 清仁 脚の具合が悪く 5 月のクラス会も欠席した次第です。
- E06 西村 辰朗 毎日水泳、週 2 回は囲碁、朝は雨が降らない限り 20～30 分散歩とまずまず健康的な生活ですが、脳の衰退が大きく物忘れがひどくなっています。耳も遠く電話が苦手です。
- E06 平田 峯生 毎日 5 時起床 30 分掛けて公園まで散歩。ラジオ体操をして帰宅といった日々です。これでは老化が進行するのみです。これからは外出を増やしたいと思っています。
- E06 松浦 孜 お世話になります。7月4日(木)の題記の会、いずれも出席します。
- N07 河原 好功 歳相応の筋力トレーニングと体力維持のためにスポーツクラブに通い、月に 2 回位のペースでゴルフもエンジョイしながら元気に過ごしております。
- N07 福知 武 マスターズ水泳大会(50m クロールと背泳)及びゴルフの向上を目指して、筋トレと体幹強化の為、セントラルスポーツジムでピラティスに打ち込んでいます。
- N07 森本 靖之 お陰様で息災に過ごしております。
- N07 山崎 重勝 年令なりに健康に恵まれ趣味(謡曲、菜園)を楽しんでおります。
- N07 吉山 敬 なんとか生きています。
- N08 柊 昌夫 健勝に過ごして居りますが体力の衰えは甚だしいものがあります。
- N08 目良 賢三 特にありません。今後とも宜しくお願い致します。
- E08 秋葉 光宏 我々 8E は今年入学後 60 年。老人の部に入りました。1 月銀座での同期新年会の帰途カラオケ店で偶然「白菊の歌」を発見、一同熱唱し元気になりました。外形は老人も心は若者で行きたいものですね。
- E08 加藤 彰宣 八十翁にして未だに禄を食んで居ります。同族会社で後継者が居なくて、後は野となれ山となれとの心境です。やれやれ。
- E08 北澤 俣一 歳相応の不具合(心房細動)はあるが日常生活に支障はなく専らピンピンコロリを目指し自転車や歩行にて健康維持に留意しながら息子の会社経営や田舎(長野県)の境界問題等に関わっています。
- E08 東 紀元 会社時代を終えて後、約 20 年間の田舎生活(京都府不唯一の村:南山城村)に見切りをつけ年齢になりました。最近では都心に出向くことが億劫になりました。しかし地方への鈍行列車の旅を楽しむこと、毎日どこかへ出掛けることに心がけながら健康維持に努めてます。今報を楽しみにしております。有難うございます。
- E08 牟田 俊臣 年相応に頑張っています。

E08 山下 恒彦 この 5 月に”傘寿”を迎えました。お陰様にて健康裡に日々過ごしています。毎朝ウォーキングの途中、眼下に浦賀水道を出入りする船々を眺めながら現役時代の自分(の勇姿?)を想い出し懐かしんでいます。

N09 櫻井 孝 事務局長及びスタッフの皆様のご努力感謝致します。

E09 井村 英則 元気に過ごしています。同封のはがきは小串さんのものです。井村のはがきが小串さんに？

E09 小串 南海雄 1 年位前から筋肉量が落ちてきて、77 歳の高齢を実感しています。女房と二人暮らしですので、日常生活には支障はありません。

E09 谷口 博胤 歳相応に元気と思って居ります。

E10 國井 正明 山形のさくらんぼの盛りは 20 日頃だそうです。今年も明日(18 日)に出掛けます。

E10 嶋 公治 歳をとるに従い物事に対して億劫になり勝ちになり、釣・テニスをやめゴルフも年数回程度に少なくなりました。海神会にはいつも不参加で申し訳なく思っています。世話係様ありがとうございます。

N10 竹中 重高 2014 年 7 月に東京湾水先区水先人を廃業、年金生活に入り 5 年が経ちました。本年 7 月 22 日で 77 歳喜寿を迎えます。歳相応に心神ともに緩みが来て何事にも億劫が先に立つようになりました。

N11 小林 英司 H31 年 3 月 23 日 大阪湾水先人会を退会し 4 月より東京に移りました。近くの砧公園の散歩をしながら過ごします。

N11 武田 欣也 10 年余り続けた帆船海王丸の研修生指導員も昨年卒業し、しばらく海を離れています。今はシルバー人材センターで植木職に専念しております。マスト登りが木登りに代わりました。趣味のサッカーでは、35 年続けたジュニアサッカーの監督をリタイアし、現役選手として自身のシニアサッカーに打ち込んでいて、東京都のリーグや首都圏代表チームであちこちの大会に参加しています。今後、元気に走り回れる限りサッカーを楽しんで行きたいと思ひます。

N11 竹橋 由進 昨年暮れに気管周りに癌が見つかり抗がん剤と放射線治療で約 2 か月の入院生活を送りました。現在も月 2 回の通院で再発防止の治療を行っておりますが、体調も回復し以前同様に月 5・6 回のゴルフを楽しめる様になりました。

N11 花田 兵六 昨年は体調崩して寝込んでいましたが皆様のおかげで何とか元気戻してきました。海洋会の絵画班”鴉童会”の幹事をしています。絵に興味のある方は是非小生の方に連絡下さい。

E11 井崎 宣昭 70 歳で食道・胃ガンに罹り現在は良好に推移していると思われます。このガンの事後処理の一環として鉄分の補給が欠かせませんが、これが原因かどうか。長い間かかっていた街の内科医を変更しました。自身にとっての大きな変化はこれ位でしょうか。皆様も体調不良となったら街の担当医を変更されては如何でしょうか？

E11 稲垣 伸吾 相模湖の山奥でまだ元気に過ごしてはおりますが、加齢とともに東京まで遠出することがおっくになってしまいました。田中さん他皆様のご活躍を見守らせて頂きます。

E11 柏尾 英彦 返信ハガキの件、了解しました。気にしないで下さい、

N12 高石 勝 退職し一年半が過ぎスローペースの生活で体力の衰えを実感しております。

N12 富久尾 義孝 元気な内にと...せせと My 海外旅行を計画し、楽しんでおります。

N12 大谷 紀久彦 健康には不都合を感じていませんが、することなすことスローモーになってきました。記憶も長続きせず、特に人の名前をすぐには思い出せず難儀することも多くなってきました。そんなこんなで、自宅に引きこもりがちになります。

N12 川瀬 正彦 ボランティアと趣味の日々です。「帆船日本丸ガイド」・地元の国際交流センターの英語教室・2 クラスの企画運営とクラス立ち合い、をしております。時間だけは自由になる様になりましたの

で、趣味でフルートとサクソフーンを楽しんでおります。白鷗寮での夕食後、講堂に赴きブラバン練習で、2 期上の 山戸 守 先輩が、管楽器に触れた事すらない「ど素人の私たち」に、音の出し方から楽譜の読み方まで、根気強く怒ることもされずに親切に教えて下さいました。今も楽器に親しみ楽しむことが出来、心豊かな日々を送れるのは、ひとえに 山戸 先輩のお蔭と、深く感謝しております。最初のご就職先などに、個人的ツテで尋ねましたが果たせず、未だに御礼を申し上げる事すら出来ません。どなた様か 山戸先輩 をご存じの方、私の深い謝意をお伝え頂ければ幸いに存じます。

E12 寺田 栄一 今年で後期高齢者となります。六甲山麓から巣立って 52 年。10 年前か s 地元の NPO(特定非営利活動法人)に籍を置いて経理処理や社会保険労務に精を出し、自らも楽しむ毎日を送らせてもらっております。

N13 中田 雄一郎 幹事ご苦労様です。

N13 早川 進 7 月初旬、梅雨明け 10 日、天気晴朗にして順風あり、この時期ヨット乗りには一番嬉しい季節です。すみませんが定時総会の頃は何处かの海に出ておりますので欠席させていただきます。相変わらず東京の小さな海運会社でお世話になっています。月の内 1/3 は各地の本船を訪れ船長らと与太話をし楽しんでやっています。

N13 松田 郁夫 成田山新勝寺でのボランティアガイドを続けています。段々と境内の階段がきつくなっていますが、世界中からの参拝者との一期一会を楽しんでいます。

E13 木梨 哲司 いつもお世話になり、有難うございます。遅くなりましたが、7 月 4 日(木)の海神会総会は都合悪く、欠席とさせていただきます。 よろしくお願い致します。

E13 田中 貴雄 支部便りもルーチン化を図っている所為もあり、マンネリ化してきております。新機軸が望まれます。準備・主・確認の 3 年毎の順送りなどの組織化が継続の道と考えていますのでご協力よろしくお願い致します。

E13 中島 洋 特記なし

E13 能川 和幸 先日 TV で PCC 便乗記を見ました。太平洋のうねり、パナマ運河のゲート、入港直前に見える街の灯り...、懐かしい風景です。電気系統のトラブル原因が分からず悪戦苦闘する姿、思い出しました。もう何十年も前のことなのに鮮明に思い出せます。最近のことはさっぱり、昨日の夜、何食ったっけ??

N14 鬼塚 雄介 6 月半ばより 1 ヶ月、南仏ニースのフランス語学校へ短期留学しています。

N14 田代 源吾 一昨年仕事を終了し一人暮らしの老人として平凡に、まあまあ元気に暮らしています。

N14 中村 浩司 障害を持つ息子の世話に明け暮れる毎日ですが、元気に明るくやっています。

E14 井手 祐之 私議、5 月末を以て(一社)日本船舶機関士協会の会長を交代致しました。海神会各位の御協力に心から感謝申し上げます。

E14 篠原 新一 7 月 4 日の定時総会へは都合により欠席致します。

E14 吉岡 志郎 4 年前に脊椎管狭窄症の手術をしましたが、完治せず腰足痛に悩まされてきました。その後スポーツジム通い、ボランティア活動の積極的な参加等により、相当改善し今ではすっかり良くなって元気で充実した毎日を過ごしています。

E14 安原 國興 昨年 H30.9 月末退職し帰京しました。Final Stage に入ったところでしょうか?

N15 上野 俊雄 発病して 2 年を過ぎました。まだ投薬治療を続けていますが、何とか毎日を元気に過ごしています。皆様もお体大切に。

N15 筒井 哲 7 月末まで海技大学校水先教育センターに勤務しております。その後、水先人会退会・廃業します。

N15 檜原 宗明 お世話になっております。定時総会のご案内、有難うございました。都合により、総会、懇親会、共に欠席いたします。

- N15 松下 良興 東京湾水先人会でまだ水先人をやっています。定時総会、懇親会のご盛会お祈りしております。
- E15 桑田 守 年相応に元気にやっています。週2回ほどの運動と頭の体操は続けていますが、衰えには逆らえず、外出やゴルフをすると翌日は休養しないと体が動かなくなりました。海神会の事務局の仕事もボケ防止に役立っているようです。
- E15 道浦 馨 海神会関東支部の持続可能性は若い会員の増加に尽きます。若き卒業生の参加をお願いします。
- N16 重田 秀人 お陰様で元気に水先業務に復帰致しました。ご盛会を祈念致します。
- E16 相松 博 今マンションの理事長を勤めていますが、種々な懸案事項を処理するに、現役時代のことを思い出します。灰色の脳も活発化しています。老いる暇もありません。”四海波静かにて”の心穏やかな毎日でもあります。
- E16 福西 昇司 本メールにてご連絡申し上げますので宜しくお願いします。
- N18 神野 道雄 古稀を迎えて身体の衰えを感じながらスポーツジム、ゴルフで体力維持に努めています。
- N19 加藤 和夫 5月の連休最終日から 客船につぼん丸で小笠原クルーズに行きました。学生時代に白鷗寮で乗船実習で小笠原に行った先輩から嬌婦岩の話しを聞いて関心を持っていました。最近もNHKの番組で紹介され、それを自分の目で見られるというので、ツアーに参加しました。5泊6日の船旅で、硫黄島や西之島も周回してくれました。食事美味しく、楽しめました。
- E19 梅津 陽一 7月4日の海神会関東支部 定時総会及び懇親会 所用の為欠席いたします。
- E19 中嶋 孝雄 いつも大変お世話になっております。7月4日の定時総会は欠席とさせていただきます。今後ともよろしくお願い致します。
- E19 三木 洋 現在中国の修繕 DOCK に来ております。今地球環境問題(燃料イオウ分削減)の一つの対策として Scrubber を既存船に設置する工事ですが、思いのほか時間を要し、誠に申し訳ありませんが、出席予定でした関東支部総会を欠席させていただきます。
- N20 宮崎 龍平 私は今月半ばをもって退任することになりましたので、お手数ですが自宅の mail address に変更をお願い致します。
- N20 鈴木 哲也 百名山を目標に山登りを趣味として楽しんでいます。
- E20 神田 一郎 船員災害防止協会の顧問として講習等の手伝いをしています。毎日ノルディックウォーキングして、時々ゴルフを楽しむ気力と体力を保つようにしています。
- E20 佐田 昌弘 海洋会事務局も4年となります。海洋会も創立100周年を来年迎えます。今委員会の一員として記念事業の企画に取り組んでいます。7/3 業務多様により欠席メール
- N21 木之田 久美 2019年5月31日で関東を離れ九州熊本へ帰りました。大学進学以降、初めて3か月以上生活する事になります。ごきげんよう！
- N21 小寺 俊秋 先日(5月26・27日)神戸で毎年開催されている21期の同窓会に出席し旧交を温めました。
- N21 平塚 惣一 3月末で(株)商船三井・顧問を退任し、43年間のサラリーマンを卒業しました。何もせずのにのんびりする積りでいたところ、海洋会の会長をやれという話になり、固辞していましたが最終的に受けざるを得なくなりました。(余計なことですが、会長は無給のボランティアです)海神会の皆さんにも、ご協力、ご支援をお願いします。
- E21 西重 正博 小生は現在、東京を離れ故郷の鹿児島に長期滞在中です。50年ぶりの故郷なので今浦島で戸惑いながら、古い思い出を探し動いております。大変申し訳ありませんが宜しくお願い致します。

E21 丸山 博史 15 期の道浦さんから、理事就任のご要請があり、お断りする理由もなく、お受け致しました。微力ではございますが、何卒宜しくお願い致します。ただ、道浦さんにその際申し上げましたが、未だ現役ですので、お手伝いできる範囲に限られること、ご容赦お願い致します。そんな状況で、早速ですが、7 月 4 日の総会も、客先対応で欠席せざるをえません。申し訳ございません。

E22 油原 朗 サラリーマン生活に区切りを付け健康の為、稲作農家をしています。また霞ヶ浦にて好きなヨットに乗っています。

N23 細井 研二 誠に済みません。今回は出張と丁度重なり出席できません。次回宜しく願います。

E23 田中 浩司 定年退職後 2 年経過し自由な毎日を謳歌しています。2 回/年の格安海外ツアーで米/グランドキャニオン、中国/万里の長城、ペルー/マチュピチュ等に行き、今後トルコ、エジプト、メキシコ等に行く予定です。割合古代遺跡が好きなようです。

E23 深津 稔 元気でやっています。

A03 木下 広一 ①出身高校の関東同窓会幹事で頑張っています。②海神会関東支部へは昨年(2018 年)7 月 3 日の総会から参加しています。③神戸大学東京有楽町六甲クラブの会員にもなりました。④「万歩の会」の会員にもなります。

A03 福田 秀記 いつもお世話になっております。ご連絡有難う御座いました。大変申し訳ありませんが、定時総会のみ参加とさせていただきます。宜しくお願いします。

N24 水戸川 博明 御盛会をお祈りします。

E24 高松 正樹 今パナソニック群馬工場(旧サンヨー東京製作所)で空調の基礎を教えています。ボケ防止には丁度よいです。

E24 森 雅彦 来月 7 月 4 日関東支部定時総会について、定時総会及び懇親会共に都合により欠席させていただきます。

E24 若林 庸夫 再任用フルタイムの勤務 3 年目です。元気でおります。

N25 山口 芳孝 東京湾水先人 5 年目になりました。当日は作業の関係で欠席します。ご盛会を記念します。

N26 乾 孝宏 事務局いつも有難うございます。当方変わりなく海運界にて現役(陸上)で働いております。あと 10 年は頑張りたいですね。

N26 楠木 智 ファーストマリナーサービス(株)で船舶管理業務に携わっています。6/24 メールで欠席

N26 山田 敬一 2015 年 4 月 1 日より(一財)日本海事協会・船舶管理システム部に常勤嘱託として勤務しております

A06 小久保 孝 高砂熱学工業(株)に勤務し、原子力施設と加速器施設の空調エンジニアです。

A06 濱中 幸憲 2018 年 5 月よりアメリカに赴任となり、現在デトロイトに住んでいます。郵便物は転送され届いていますので御心配無く。8 月に一時帰国しますので遅くなりますが、その際に年会費を払わせて戴きます。よろしくお願いします。

N27 国枝 佳明 当日、所用があり出席できず残念です。盛会を祈念しています。神戸大学海事科学部(旧商船大学)の今後が気になっています。益々の発展を願っています。

T02 太田 孝 昨年、会社((株)日立ソリューションズ)を中途退職し神奈川県より群馬県妻恋村に移住しました。この度ペット同伴可能な貸別荘を北軽井沢でオープンさせました。ペットと人の共生をコンセプトにモデルルーム的意味合いを持たせ、ペットを飼っている方の参考になればと考えています。一度、自然いっぱいの北軽井沢でのんびり過ごしませんか?「セルム北軽井沢」<https://www.selm-kitakaruizawa.com>

E30 小林 唯人 大変ご無沙汰しております。お変わりございませんでしょうか。中寮 408 号室

BK00 中村 環 事務局お疲れ様です。

08W 井上 一規 事務局お世話様です。出席致します。

返信を戴いた方

E01 長谷川 正秀	N04 門間 善四郎	E05 広瀬 弓夫	E06 武井 俊平	E06 寺島 威夫
N07 有田 毅	N08 秋光 正健	N09 菊池 駿一	E09 平野 正規	E10 福永 陽司
N10 中川 昭夫	E10 土田 順正	N11 熊谷 昭治	N11 豊永 堅二	N12 小林 道明
E12 井上 二士夫	E12 池澤 正秀	E13 三国谷 毅	E14 岡本 健之助	N15 岩淵 三穂
N15 梅木 秀美	E15 橋口 敏明	N16 藤江 哲三	N16 矢吹 英雄	N17 佐野 展雄
N18 秦 鉄夫	E18 高尾 健一	E22 木下 哲也	A02 戒 重薫	E23 田中 要
N24 中村 紳也	N24 西浦 廣明	A05 井上 孝昭	E28 小松 泰三	K02 西尾 幸
A16 松政 和彦	E37 柳瀬 啓	016W 野口 佳明		

閑話休題—船乗り用語—

N13 早川 進さんから

ゴーヘイ(五兵衛???) :たぶんこれは Go なんとかだろから、行けとか、来いとか、その辺の号令かなにかだろと思うでしょう。そうです。その通り、正解にかなり近い。

本当の使い方は Go ahead、ゴーアヘッド、進め！、なんですが、船ではこの他にそのまま動かし続ける場合、例えば錨を巻き上げている時なにかの都合でいったんストップし、又続けて巻き上げを再開するような場合“ゴーアヘッド”と号令をかけます。

ゴーアヘッドを何回も発音してみてください。ゴーアヘッド、ゴーアへ、ゴーヘイ になってしまったでしょう。船乗りはこれをよく日常の会話の中で使います。

若いセーラーさんが町で素敵な女性を見掛け、流行(はやり)の言葉でいえばナンパしようかどうかと、モジモジしているのをそばで見ていた先輩船乗りが激を飛ばします。「ゴーヘイ ゴーヘイ !!」

ヒーボーイ : 持ってくると言うよりは引っ張り込む、かすめ取ってくる、連れ込む って感じですね。

本当の意味は heave in、ロープや錨を巻き上げる、手繰り込む、という意味で、錨を抜いて船が出港しようとする時に船長がかける号令のひとつに「ヒービン アンカー」軍隊式で言うと「錨上げー」と言うのがあります。

船の中ではよくロープやワイヤーを引っ張る作業があります。そんな時のかけごえは大体ヒービンですがヒービンがいつしか部員さんの間ではヒーボーイの方が発音しやすいみたいでこれが一般的になり、転じて日常会話では少々込み入った意味を含むようになりました。

「また俺のパンツ誰かにヒーボーイされちまったよ。」とか「メッサンたまには陸へ行って彼女の一人ぐらいヒーボーイしてこんかい。」などなど。

レッコ : 「レッコアンカー」(錨打て〜!) 入港の時 錨を打つ時の船長の号令、“Let go” という英語。

これが又結構いろいろな使い方をします。

「そんな汚ね〜シャツ、レッコせ〜」とか「早よ、そのロープレッコせんか!」あるいは「俺あの娘に レッコ されちまったさ」などなど 捨てるとか、離すとかという意味でよくつかいます。

ワッチワッチ : 「OOさん 今日はワッチワッチで行きましようか。」こんな感じに使います。

ワッチと言うのは航海当直や機関当直、又は荷役当直のことで、決められた時間割りに沿って交替で仕事をするを指します。例えば航海当直で見ますと、毎日 0-4 時、4-8 時、8-12 時、午後の 0-4 時、4-8 時、8-12 時 が当直時間割りで 各 0-4 時は二等航海士、各 4-8 時は一等航海士、各 8-12 時は三等航海士がワッチに入ります。

ところが、この“ワッチ”という語感から、交替で、あるいは順番で、と言った意味合いで本来 2~3 人が同時に同じ仕事をしなければならないところ、交替交替で仕事をし、あとの人はさぼってしまおう と言う時に「今日はワッチワッチで行こう。」とやります。

6. 会員往来（事務局判明分）

6. 1 新しく住所登録戴いた方々

N11 熊谷 昭治 N11 小林 英司 E12 石田 紀久 A03 石丸 等 A03 小坂 淳彦
A03 福西 富士男

6. 2 関東以外の地へ移られた方々

N21 木之田 久美 11W 福岡 幸二

6. 3 物故者（事務局に連絡戴いた方々です）合掌

E03 絹田 紀 2017 年 5 月 お知らせが大変遅くなりましたが、主人 絹田 紀は平成 29 年 5 月に病気のため亡くなっております。今まで海神会のお便りをお送り頂き有難う御座いました。連絡が遅れまして申し訳ございません。（妻 伸枝）

E08 加地 康弘 2018 年 7 月 7 日 同期の北澤 俣一さんから

N02 高橋 庄平 2019 年 1 月 12 日 この度、父 高橋 庄平宛に同窓会開催の案内をいただきましたが、父は今年 1 月 12 日に膵臓癌のため逝去いたしました。ここに謹んでお知らせしますとともに、生前故人に賜りましたご厚誼に対しまして深く御礼申し上げます。

E23 箕浦（児玉）明 2019 年 3 月 16 日 兄上からの連絡

N06 上田 一郎 2019 年 5 月 4 日 同期の大谷 浩二さんからの連絡

N21 上田 英夫 2019 年 5 月 18 日 令和元年 5 月に主人が亡くなりました。

6. 4 事情あって郵便等をご遠慮された方々

N10 桂田 貞美 いつもご親切なご連絡有難うございます。超高齢を迎え気力体力共に減少しましたので、今後の会報は不要とさせていただきます。本当に長い間有難うございました。

6. 5 前号が不達となった方々…お知り合いの方はお願い下さいます様お願いします。

N18 大塚 健行 E25 前田 哲也

7. 会員の広場 “Bridge”

☆神戸商船大23期及び東京商船大学26回生合同同窓会「63会」

昭和 53 年卒業の神戸商船大 23 期及び東京商船大学 26 回生合同同窓会「63 会」を 9 月 21 日土曜日に東京海洋大学越中島キャンパス内マリカフェで実施しました。

台風 15 号の通過の翌週、東北から関西まで遠路を顧みず駆け付けた方々を含め 67 名の参加でした。

神戸（航海学科・機関学科・原子動力学科）及び東京（航海学科・機関学科）合同の同窓会は、約 20 年前から中断はあるものの、毎年開催しております。練習船以来という仲間も多く、顔を会わせるや、「やあ、あの時の…」久々の再会に話が弾みました。2 次会は、各学科別に越中島の町に散って行きました。

以下は、その時の記念写真と参加者です。



KN(10 名)	青木 正也	榎本 雅之	小暮 正紀	塩岡 智	末本 太	中村 俊輔
	西本 高之	村山 文雄	山佐 洋一	伊藤 肇		
KE(9 名)	岩井 亮助	田中 浩司	土手 順弘	中村 格	能田 清司	深津 稔
	藤原 雅彦	横井 良弘	力丸 潔			
KA(4 名)	北山 信一郎	福田 秀紀	溝道 登喜男	木下 広一		
TN(13 名)	池田 重樹	石川 正人	石津 則昭	今井 明男	大塚 文和	勝田 秀次
	河野 静敬	三宮 宏一	鈴木 和宏			
TE(31 名)	安生 恵一	池田 義男	稲石 正明	箱崎(小野) 温夫		小野寺 幸弘
	大上 尚志	久保 正三郎	倉持 眞幸	小林 邦昭	小松 日出夫	五藤 一道
	佐々木 幸一	佐藤 孝吉	佐藤 順一	白石 和巳	鈴木 信義	鈴木 憲雄
	田邊 裕治	高梨 繁	長南 賢司	土谷 一寿	寺前 敬俊	中丸 正
	針尾 和幸	三沢 義男	村上 邦彦	茂呂 隆	吉雄 完彌	渡辺 純一
	岩本 勝美	渋谷 聖				

(KA3 関東地区幹事;木下 広一 記)

☆宿泊懇親会 & 第 5 回ゴルフコンペ報告

関東支部では昨年に引き続き&10月6日(日)に伊豆長岡温泉「伊古奈荘」で宿泊懇親会(参加15名)を、翌7日(月)に伊豆にらやまCCでゴルフコンペ(参加15名)を実施しました。東京から伊豆長岡までは東京～(JR 120.7km)三島～(伊豆箱根鉄道駿豆線 11.4km)伊豆長岡の経路ですが、東京 12 時発の特急「踊り子 115 号」を利用すれば、乗り換えなしで伊豆長岡に 13 時 55 分には到着します。伊豆長岡駅から伊豆長岡温泉にある伊古奈荘までは狩野川を渡って徒歩で 15 分程です。駅を挟んで反対側には平成 27 年 7 月に世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」の一部である韮山反射炉があります。

◇懇親会報告



受付を済ますと明日のゴルフコンペに備えゴルフ番組を見て研究するのもよし、“平生の 心に持たや風呂上がり”などを見ながら大浴場でゆったりするのもよし、歓談するのもよしと 18 時の懇親会まで気ままに過ごしました。懇親会は元気澁刺の 2 期生 3 名をはじめとし、参加 15 名を迎え催されました。幹事(N11 竹橋さん)の司会に従い自己紹介・近況報告を含め百花繚乱・喧々囂々・和気藹々と大輪の華を咲かせ、懇親を深める楽しい宴会となりました。予定時間はアツという間に過ぎました。翌日のゴルフコースの説明と朝食は 6 時 30 分～を確認し宴会場を後にし、有志はカラオケに向かいました。写真は懇親会のスナップです。(E13 田中 貴雄 記)

◇第 5 回ゴルフコンペ報告

『人々が美しく心を寄せあう中で花開く』という意味が込められた元号が令和に改まり、令和最初の海神会関東支部懇親会及び第五回ゴルフコンペが、竹橋 由進(N11)さんのご尽力により懇親会(10月6日)が伊豆長岡温泉「伊古奈荘」にて、第 5 回ゴルフコンペ(10月7日)が伊豆にらやまカントリークラブにて開催されました。私は未だに現役で仕事をさせて頂いてい

るため都合がつかず、総勢 15 名の懇親会で盛り上がっている最中に春先に購入して DIY に改造した軽ワンボックスで深夜に伊東市の道の駅へ到着。そのまま車中泊後、朝 5 時から入浴できる道の駅の温泉にじっくりと浸かってからゴルフ場へ直接出向きました。懇親会には、ゴルフには参加しない事務局長の田中貴雄(E13)さんがわざわざ遠方より参加とのこと。さぞや学生時代や社会人、現況などの話題に茶々が入る程に盛り上がった懇親会の様子については前述の懇親会報告を参照下さい。



さて参加者総勢 15 名での第 5 回ゴルフコンペですが、開催コースの伊豆にらやまカントリークラブは富士山と眼下に駿河湾を一望できる雄大な景観の 27 ホールで、関東プロゴルフ選手権や日経カップ等のプロトーナメントも開催されたという本格的で戦略的なコースで手入れも行き届いている素晴らしいコースでした。スタート時は曇天で風もあり、少し肌寒いような状況でしたがプレーの途中からは時折青空も覗き、山頂部に雲が掛かっている富士山へ向ってのショットと駿河湾を眼下に望むショットを満喫。もはや脅威と言えるほど活力溢れた 80 代の参加者が半数を占めていたにも拘わらず、誰一人リタイヤすることなく全員無事ホールアウトしました。

新ペリア方式による優勝者は、OB やペナルティで大叩きしたホールの殆どが隠しホールで、ハンディキャップ 25.2 という幸運に恵まれた私がグロス 96 での優勝となりました。準優勝者はグロス 88 で一緒にラウンドされた世話役の竹橋 由進(N11)さんですが、竹橋さんは昨年末の大病から復帰後今回で 36 回目のラウンドということで、その曲がらないドライバーやショートゲームの巧みさにはまったく歯が立ちませんでした。3 位は、檜原 宗明(N15)さん、5 位が井手 祐之(E14)さん、7 位が丸山 幹雄(N2)さん、BB が福知 武(N7)さんという順位でした。クラブバスの時間が迫り、打ち上げ会もそこそこに解散の運びとなりました。次回第 6 回コンペは、来年 3 月 19 日(木)に千葉県佐倉市の佐倉カントリークラブで 6 組を予定とのこと。若手にも奮って参加して頂きたいものです。



優勝の高岡さん

参加者 16 名 (敬称略) は懇親会のみ参加、 はゴルフコンペのみ参加

海道 俊雄(N2)	笠原 邦三(N2)	丸山 幹雄(N2)	廣田 孝雄(N5)	河原 好功(N7)
福知 武(N7)	森本 靖之(N7)	竹橋 由進(N11)	花田 兵六(N11)	富久尾 義孝(N12)
田中 貴雄(E13)	井手 祐之(E14)	吉田 伏見男(E14)	檜原 宗明(N15)	高岡 章雄(E18)
佐田 昌弘(E20)				

(E18 高岡 章雄 記)

◇第 6 回ゴルフコンペの案内

2020 年 3 月 19 日(木) 佐倉カントリークラブで、OUT スタート 9 時 6 分より 6 組を予定しています。

プレー料金はキャディー・昼食付き税込みで¥14,900 の見込みです。

スケジュール調整の上、多数のご参加をお待ちしております。

※尚、来秋も今年同様に宿泊懇親会＋第 7 回ゴルフコンペを伊豆長岡で開催する予定です。

☆E12 石田 紀久さん(放送大学 全科履修生「自然環境コース」在学中)が講演

2019 年 9 月 7 日(土)13:00～16:00 に茨城県立図書館 視聴覚ホールで開催の—放送大学茨城学習センターから智の発信—知識経験を生かした地域社会活動の第 10 回教員・学生講演会で◇相対性理論と実社会～茨城学習センターのゼミ「相対性理論」の輪講を終えて～「アインシュタインの相対性理論が実社会でどの様に役立っているかを紹介する。また、この理論をアナロジーとして実生活を見た場合の我々のライフスタイルのあり方を論じる。」を講演しました。

☆N13 須賀弘さん(イソリス株式会社 代表取締役)が本を上梓

株式会社資産工学研究所 坂本 善博代表取締役と共著で“マネジメント力の「見える化」「できる化」「続ける化」”を 3 月 8 日に Amazon からオンデマンド出版しました。

<https://www.amazon.co.jp/gp/product/4802095562>

本誌は、基礎編、応用編、事例編、総括編と 4 部から構成されており、最後の総括編では、「品質管理」「安全管理」「経営管理」の三つの視点より、ISO の領域を明確にし、総括として、望まれる「ISO+ナレッジ」の診断シートを活用した総合的な人材開発システムを提案しています。

☆につぼん丸ツアーと孀婦岩(そうふがん)

19 航海学科 加藤 和夫

5 月 6 日の連休最終日から 5 泊 6 日で、客船につぼん丸での小笠原クルーズ(硫黄島・西之島周遊)ツアーに参加して、孀婦岩も間近に見てきました。

孀婦岩は伊豆諸島最南端の孤立した岩で、昨年秋に NHK で特集番組(2018 年 9 月 28 日(金)奇跡の巨岩「孀婦岩」に迫る!)が放送されました。私は、学生時代に白鷗寮で同室の先輩から乗船実習で小笠原に行く途中に見て印象的だったという話を覚えていて、関心を持っていました。それを自分の目で見られるツアーがあるというので、につぼん丸の船旅も楽しみに参加しました。

ツアーは月曜午後、横浜港大棧橋埠頭から国内を周遊する飛鳥Ⅱと同時に出港して、土曜の朝にまた飛鳥Ⅱと同時に帰港するスケジュール。上陸は小笠原の父島だけでしたが、船中ではロープワークやナプキン折りの教室、洋上のプラネタリウムと題した三等航海士による星座案内、操舵室見学等のイベント、バンドや和太鼓、アーティストのライブコンサート、ビンゴ大会等のプログラムが盛り沢山。食事美味しく、少しも退屈することなく、船旅を大いに楽しめました。

孀婦岩は 2 日目の午後と 5 日目の早朝にそのまわりを旋回。幸いにも好天で、標高 99m の孤立突岩をしっかりと自分の目にもカメラにも収めることができました。

3 日目、たった一か所の入港・上陸地の小笠原二見港には、朝 8 時過ぎから午後 4 時まで 8 時間たらずの滞在。ブイに係留して、漁



孀婦岩



小笠原二見港でのにつぼん丸

船の通船で上陸。島内観光をしてウミガメの放流を見学。



南硫黄島



硫黄島



北硫黄島



西之島

クルーズでは 2 日目の昼にアホウドリの繁殖地鳥島を周遊。4 日目朝に南硫黄島まで南下。雲を透かしてやっとピラミッド型の天辺を何とか見られましたが、硫黄島と北硫黄島は雲に覆われて海岸線をやっと見られただけでした。4 日目の午後は噴火を続ける西之島を周遊。

航海中はうねりのようなものは感じませんでしたが、下船後数日間はじっとしていると、何となく身体が揺れている感じでした(笑)。悪い気持ちはしませんでした。



早朝の嬢婦岩



フェアウェルディナー

🔔 8. 黎明の鐘 🔔

http://www.maritime.kobe-u.ac.jp/news/news_2017.html

☆海事科学部 Web サイトの NEWS から主なもの

- 9.24 小浦 隆之さん(博士課程前期課程 2 年)が JAWS2019 において最優秀学生論文賞を受賞
- 9.17 中坪 良平さん(博士課程後期課程 3 年)らが「日本エアロゾル学会論文賞」を受賞
- 8.30 令和 3 年 4 月に新たに設置予定の『海洋政策科学部(仮称)』は、海洋開発や海洋産業の創出・振興を図るとともに、海洋ガバナンスに係る政策立案など、国際海洋社会を牽引できる海のグローバルリーダーとエキスパートの養成を目標としています。
- 8.19 卒業生の加藤 麻由氏(平成 22 年度博士課程前期課程修了・川崎重工)が日刊工業新聞の連載記事で紹介された
- 8.06 「夏休み子どもいろいろ体験スクール 2019」を開催しました
- 7.24 大学院修士 2 年生の玉木 雄祐さん(マリンエンジニアリングコース)が国際衝撃波シンポジウム(ISSW32)にて Student Competition Awards を受賞
- 7.23 大学院海事科学研究科博士課程前期課程海洋安全システム科学コース 1 年の中川 涼さん(指導教員 蔵岡 孝治教授)が学生ベストポスター賞を受賞
- 7.05 神戸大学海事博物館企画展「和船の活躍した時代」を開催します
- 6.20 橋本 博公准教授が国際会議 Trans NAV 2019 で Best Presentation Award を受賞
- 6.19 渕 真輝准教授が我が国の船舶の国籍(船籍)の現状について朝日新聞からインタビューを受けた
- 6.10 武田 実教授らによる産学共同提案が、NEDO 2019 年度「新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業」に採択された
- 5.14 海洋安全システム科学講座の年次報告書 2018 を掲載した
- 4.05 古荘 雅生教授が西日本高速道路株式会社九州支社から表彰された

∞研究紹介∞

海洋環境保全と海洋微生物の研究

神戸大学大学院海事科学研究科 教授

機関学科 29 期 三村 治夫

1. はじめに

筆者が母校卒業後に海洋微生物という大変小さい生き物を研究対象とするようになった端緒から説明させていただきます。大学院商船学研究科修士課程機関学専攻に進学し、1986 年 3 月に修了、附属船貨輸送研究施設防災研究部門に助手として採用していただいたのが海洋微生物の研究を始める端緒となりました。本研究施設は載貨研究部門と防災研究部門から構成されていて、載貨研究部門に久保 雅義先生(N13)、木村 隆一先生(E17)、防災研究部門に福士 恵一先生(E18)がおられ、筆者が採用されたのとはほぼ同じ時期に、同期の斎藤 勝彦先生(N29)が載貨研究部門に着任されました。



当時を振り返ると、「カップが陸に上がった」とか「海運不況」といった見出しが新聞に掲載されていたように思います。1980 年代後半は、神戸商船大学に博士課程後期課程が設置されておらず、学位を取得するには旧帝大など学位審査ができる大学へ博士論文を提出し審査に合格する必要がありました。このような状況下、母校出身の先生方は真摯に研究に励んでおられ、学位を取得する気運が高まっていたと思います。そういった時期に母校に就職できたことは、大変幸運だったと思います。本研究施設の施設長は商船学部から来られていて、本田 啓之輔先生、黒澤 昭先生、井上 篤次郎先生といったシニア教授の皆様の経験談を聞かせていただける幸運にめぐまれたことも、その後の筆者の教育研究に対する意思の確立に大きく影響しています。

防災研究部門には、永田 進一先生(京都大学工学部石油化学科卒)がおられ、海洋細菌を利用した流出原油の分解実験を実施しておられました。海洋への原油流出事故は、タンカーの座礁、衝突事故から海底油田の原油吹き出し事故へと主な事故形態は変わりましたが[1]、流出原油を海洋細菌で効率よく分解する実験は、先見性が高い研究と思います。

当時は有用な細菌を対象とした「バイオテクノロジー」が大変注目を集めていたこともあって、筆者も参入しました。とはいえ、研究テーマを海洋細菌の耐塩性の研究とし、熾烈な開発競争からは離れた位置にすることとしました。駆け出しのころから現在に至るまで、永田先生または筆者が海洋から単離した海洋細菌を対象として、塩耐性の研究を継続しています。先ほど触れた学位については、永田先生の勧めもあって、大阪大学医学部分子生理化学講座に内地留学(1990 年頃)させていただき、酵母のミトコンドリアに内在する ATP 合成酵素の活性を阻害するインヒビターと呼ばれるたん白質の研究を行う機会を得て、学位記授与となりました。酵母の体積は、バクテリアの約 30 倍と大きく扱いやすかったのですが、細胞壁を溶解し、細胞を構成する小器官の一つミトコンドリアを無傷な状態で単離するのが大変難しく、加えて酵母の培養から集菌、ミトコンドリアの取得、取得したミトコンドリアを使用した実験の実施、実験で得た試料を機器分析してデータ取得に至るまでに 1 週間以上費やしました。

時間がドンドン過ぎていく、データは出ない、といった状況でしたが、研究室の雰囲気が大変良くて、実験をやってみたら面白くて、充実した日々でした。この時の経験から、海洋細菌の細胞を構成するたん白質

や脂質、核酸分子を研究対象としないで、菌体を最小単位とした研究手法が良さそうに思えてきました。コロニー係数法といって、寒天培地上に塗抹した菌体が増殖して集落を形成できるか否かを指標として生存力を評価する手法です。この手法を用いてバラスト水中の微生物の生菌数を計数したり、船底防汚剤として多用された有機スズ化合物に耐性を示す海洋細菌の研究を深化させたりしています。

この手法は少なからず時代遅れ感がありますが、寒天培地は比較的安価で、経費を節約できて、かつ「生存力」という指標はすでに死滅した菌体及びやがて死滅する菌体が対象ではなく、培養すると分裂し増殖する菌体を対象としているので、生命力を実感できます。研究概要を以下の章で説明します。

国際単一市場の外航海運業界も地球温暖化防止対策に積極的に取り組んでいます。国連に属する国際海事機関の海洋環境保護委員会では、二酸化炭素の排出量が多いコンテナ船等の船種に対して、規制値の強化(最大 50%削減)が決定し、温室効果ガス削減の短期対策の日本提案として、2030 年までに国際海運全体の平均燃費を 40%改善する提案がなされています[2]。

二酸化炭素排出規制と密接に係わる船底の生物汚損対策は、主に船底塗料材に撥水性の高い新規ポリマーを使用する等、塗料の開発が中心で進んでいます。一方、筆者らはフジツボ付着期幼生の行動生理学の研究を活かして、青色 LED 光源へ誘引行動を起こすフジツボ付着期幼生の性質を利用して船底への着生を阻止する手法を、廣野 康平先生(東京商船大学 1987 年卒)と河合 和弥さん(BE48)(海技教育機構航海訓練部)と共同で実施しているので、この手法についても説明します。

2. バラスト水と海洋微生物

国連の専門機関のひとつに国際海事機関があります。「バラスト水管理条約」(International Convention for the Control and Management of Ships' Ballast Water and Sediments)[3]は、国際海事機関において各国が審議を継続して 2017 年 9 月 8 日に発効しました。採択は 2004 年 2 月 13 日なので、「10 年以上経てようやく発行に至った」といった印象です。バラスト水管理条約の発効要件は、「締約国の 30 カ国以上が批准し、商船船腹量の合計が 35%以上であること」でした。発行が大幅に遅れた理由としては、本条約がバラスト水排水時の水質を規制対象としているため、微生物の種類ごとに生存個体数の上限を規定している D-2 基準の達成のために活性物質を使用するバラスト水処理装置の最終承認に時間を要したことが一因と思います。2017 年に科学雑誌に掲載された上海海事大学教員らの記事から、発効しない現状へのいら立ちのような感情が伝わってきます[4]。

筆者は、石田 廣史先生(N17) 代表の科研費「船舶バラスト排水が及ぼす海洋環境影響とその処理技術の開発に関する研究」の分担者として、LNG 運搬船の船上で乗組員の皆様に採取していただいたバラスト水試料を対象に、海洋細菌の生菌数を計数しました[5-7]。バラスト水の試料採取は 2002 年～2003 年に、日本・カタール国ラスラファン港を往復する 6 回の航海について、国内の LNG 揚げ地港で荷揚げ中、航行中のバラストタンク貯蔵時、インド洋でのバラスト水洋上交換時、ラスラファン港寄港時のバラスト水排水時に行われました(図 1)。これらの試料に加えて、LNG を満載した復路に、空になったバラストタンクの堆積物を採取していただきました。バラストタンク堆積物は、タンク内の採取場所によって、泥であったり、砂と貝殻の破片であったりと、様々でした。バラスト水中の生菌数の調査結果をまとめると、以下ようになります[5]。

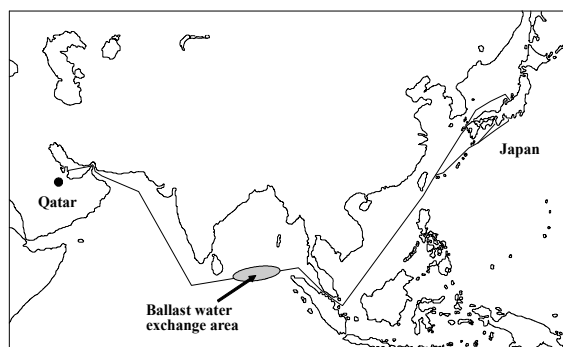


図1 LNG 運搬船の航路

日本で採取したバラスト水試料中の生菌数は、季節に関わらず $10^{5.1}$ 個 mL^{-1} を超えることはありませんでした。インド洋の公海上でバラスト水交換(排水及び再度採水)を行った時に採取した試料中の生菌数も計数しましたが、バラスト水排水時と比べ、再採水後のバラスト水中の生菌数に明確な減少は確認できま

せんでした。バラストタンク堆積物中には、 $10^{5.2}$ - $10^{6.0}$ 個 mL^{-1} の海洋細菌が棲息していること、および堆積物中の生菌数は、バラスト水中と比べ、約 1 桁高いことがわかりました。以上の結果から、バラスト水のみならず、バラストタンク内堆積物の管理がより重要であるといえます。

バラストタンク内の堆積物には、港の堆積物中に存在する植物プランクトンの「シスト」と呼ばれる休眠細胞が含まれている場合があります。このシストが貨物の積み地港へ移動し、水質、栄養、日照時間等が移動前の棲息海域の状況と適合した場合、繁殖し、定着することがあります[8]。バラスト水管理条約はバラストタンク内の堆積物も管理対象としているので、植物プランクトンの越境移動を阻止できると期待できます。

3. 船底防汚剤と海洋微生物

船底防汚剤は生物毒性を有します。亜酸化銅のような無機化合物は船底塗料に添加して使用するので、防汚効果は時間が経過すると低下します。有機スズ化合物は多様な海洋微小生物種に毒性があります。

本化合物は安価でかつ船底塗料に有機スズ化合物を重合させた自己研磨型ポリマーと呼ばれる船底塗料が開発されたことで、海洋中での使用量が激的に増加しました。そして、使用量と同量の有機スズ化合物が海洋へ溶出し、現在も鉱物などの表面に吸着して堆積物中に存在していると考えられています。有機スズ化合物がマグロ等回遊魚の内蔵からも検出され、内分泌かく乱作用があることが指摘されるに至って、2001 年 10 月 5 日に国際海事機関において「船舶についての有害な防汚方法の管理に関する国際条約」(International Convention on the Control of Harmful Anti-fouling Systems on Ships) が採択され、2008 年 9 月に発効しました。

有機スズ化合物を分解できる菌体が、2008 年になってようやくポルトガルの河口域から単離されました[9]。筆者は「有機スズ化合物に耐性のある海洋細菌なら沿岸域の海水や堆積物試料から単離できるのではないかと考えて、最終濃度 $100 \mu\text{M}$ の高濃度有機スズ化合物を含む寒天培地を作成し、海水試料を塗抹してみました。期待したとおり、増殖して集落を形成する菌体が単離できました。「有機スズ耐性菌は、細胞壁がバリアーとなって細胞質への本化合物の侵入を防いでいる」と仮説を立て、菌体と相互作用しているスズ原子の個数を静電加速器を使用して計数することを思いつきました。静電加速器は、筆者が機関学科に入学した当時から、原子動力学科原子炉工学講座に設置しており、現在も稼働中です。北村 晃先生の研究室と共同で、菌体が吸着したスズ原子を定量することができました[10]。加速器分析結果をまとめると、以下ようになります。

船舶バラストタンクの堆積物から単離したトリブチルスズ耐性菌、*Pseudoalteromonas* sp.、を用いて、菌体一個体が吸着できるトリブチルスズ化合物の最大吸着量を加速器分析で定量し、細胞壁溶解酵素で細胞壁を処理した菌体のトリブチルスズ吸着量と比較した結果、細胞壁を溶解処理した菌体の吸着量が減少しました。細胞壁の化学的組成がトリブチルスズ耐性に重要であることが示唆されました。文献から得られたトリブチルスズ分子の等価半径及び電子顕微鏡観察から算出した菌体の表面積から、一菌体当たり $10^{6.8}$ 個のトリブチルスズ分子が細胞表面に単層構造を形成して吸着していることが明らかとなりました。定量したトリブチルスズ分子の最大吸着量は一菌体あたり $10^{8.2}$ 分子で、トリブチルスズ分子は複層構造を形成して細胞壁の表層に吸着していると推定しました。

外航船の出入港数が多い港の堆積物中に存在する有機スズ化合物濃度は、他の港の場合と比較して、高いと思われます。このような環境に有機スズ耐性菌が棲息していれば、感受性菌が死滅しやすくなって、その棲息域の微生物生態系が壊れてしまうと思います。耐性菌の棲息が港湾堆積物中



図 2 トリブチルスズ化合物耐性菌（細長い形態を示す）と感受性菌（太短い形態を示す）のトリブチルスズ暴露後の細胞壁の形態変化

の微生物生態系に与える影響は現地調査で確認するのが最良ですが、筆者らは試験管内で有機スズ化合物存在下に耐性菌と感受性菌を混合して、感受性菌の死滅数が増幅されることを確かめました[11, 12]。トリブチルスズ暴露によって死滅した有機スズ感受性菌は細胞壁の形態が顕著に変形し破裂していました(図 2)。

4. 青色 LED を使用した船底汚損生物の着生制御

2015 年 9 月 25 日の第 70 回国連総会で「我々の世界を変革する: 持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が採択されました[13]。持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals, SDGs) が 17 項目に集約されて、その 13 番目に「気候変動に具体的な対策を」という項目が挙がっています[14]。防汚剤を使わないで船底の生物汚損を阻止する手法の開発は、海洋環境と海洋生態系の保全にとどまらず、石油資源の持続可能な使用と大気中への二酸化炭素排出量削減という気候変動を抑制する具体的な対策になります。「持続可能な海運の達成目標」という視点からも、石油資源の消費は大幅に削減すべきです[15]、水素を燃料とする燃料電池船[16] やアンモニア燃焼の研究[17] が進んでいます。これに関連して、毒性化学物質を使用せず、塗膜表面の平滑性を維持しながら船底防汚ができる手法の開発は大変重要な開発目標です。

筆者らは、青色 LED 光が到達する表面における放射強度が概ね 300 W m^{-2} を超えるとフジツボ付着期幼生がその放射光到達領域内へ着生する頻度が減少することを観察しました[18]。加えて、放射光が到達する領域の周辺領域に着生する付着期幼生数が増加する傾向も観察しました。この結果は、船底全面を 300 W m^{-2} 以上の放射光強度で被覆しなければ、青色光を使用した船底への付着期幼生の着生阻害手法は実用化できないことを示唆します。この課題を解決するためのアイデアは廣野 康平先生によって提案されました。付着期幼生が青色光源へ誘引行動を起こす性質を利用した新規船底防汚手法の概略を(図 3)に示します。このアイデアに基づく着生阻害実験を、光源から 40 cm 離れた位置に設置した付着板の表面に着生する個体数を計数することで実証中です[19, 20]。

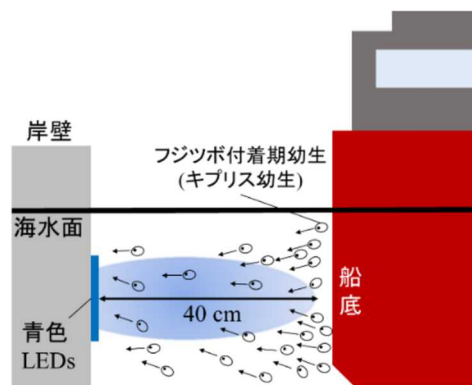


図 3 LED 光源を利用した船底防汚手法のイメージ (大学院生の中西勇斗さん作成)

5. まとめ

研究を始めてからすでに 30 年以上が経過しましたが、研究成果の集積は依然不十分と認識しています。海洋に棲息する小さな生き物の研究をより深化させる努力を継続します。

謝辞

機関学科 29 期生を担任された橋本 淳先生 (神戸高等商船学校卒業)、3 年次から担任となられた西田 修身先生 (E13) との出会いがなければ、現在の自分は無かったと思います。橋本先生には「30 年後に(研究成果が)花開くことを期待している」と励ましていただいたことを昨日のことのよう鮮明に記憶しています。

西田先生には、卒業研究から修士課程修了、在職中に至るまでご指導いただきました。お二人とも他界されましたが、筆者の記憶の中で、当時と変わらぬ姿で筆者を励まし続けておられます。

研究紹介をさせていただく機会をいただいた海神会関東支部の皆様にご感謝申し上げます。

参考文献

- [1] Arne Jernelöv, How to defend against future oil spills, Nature, Vol. 466, pp. 182-183 (2010).
- [2] http://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji07_hh_000128.html (2019 年 8 月 15 日閲覧)

- [3] [http://www.imo.org/en/About/Conventions/ListOfConventions/Pages/International-Convention-for-the-Control-and-Management-of-Ships%27-Ballast-Water-and-Sediments-\(BWM\).aspx](http://www.imo.org/en/About/Conventions/ListOfConventions/Pages/International-Convention-for-the-Control-and-Management-of-Ships%27-Ballast-Water-and-Sediments-(BWM).aspx) (2019 年 8 月 15 日閲覧)
- [4] Zheng Wan, Jihong Chen, Abdel El Makhoulfi, Daniel Sperling and Yang Chen, Four routes to better maritime governance, *Nature*, Vol. 540, pp. 27-29 (2016).
- [5] Haruo Mimura, Ryo Katakura, and Hiroshi Ishida, Changes of microbial populations in a ship's ballast water and sediments on a voyage from Japan to Qatar, *Marine Pollution Bulletin*, Vol. 50, pp. 751-757 (2005).
- [6] 三村治夫, 『バラスト水規制とバラスト水処理装置の開発事例』第 4 講 海洋細菌の特徴とバラスト水管理のポイント, pp. 57-71 (2008), (株) エヌ・ティー・エス.
- [7] 三村治夫, バラスト水中の微生物, *日本海水学会誌*, Vol. 70, pp. 10-15 (2016).
- [8] Gustaaf M. Hallegraeff, Transport of toxic dinoflagellates via ships ballast water: bioeconomic risk assessment and efficacy of possible ballast water management strategies, *Marine Ecology Progress Series*, Vol. 168, pp. 297-309 (1998).
- [9] Andreia Cruz, Ana Maria Anselmo, Satoru Suzuki, and Sónia Mendo, Tributyltin (TBT): A Review on Microbial Resistance and Degradation. *Critical Reviews in Environmental Science and Technology*, Vol. 45, pp. 970-1006 (2015).
- [10] Haruo Mimura, Ryusei Sato, Yu Sasaki, Yuichi Furuyama, Akira Taniike, Kazutoshi Yoshida and Akira Kitamura, Accelerator analysis of tributyltin adsorbed onto the surface of a tributyltin resistant marine *Pseudoalteromonas* sp. Cell, *International Journal of Molecular Sciences*, Vol. 9, pp. 1989-2002 (2008).
- [11] Haruo Mimura, Masahiro Yagi, and Kazutoshi Yoshida, Environmental impact of tributyltin-resistant marine bacteria in the indigenous microbial population of tributyltin-polluted surface sediments, *Biocontrol Science*, Vol. 22, pp. 89-96 (2017).
- [12] Haruo Mimura, Marine bacteria with strong survivability toward tributyltin. In *Advances in Marine Biology*. Volume 4 (Editors: Adam Kovács and Patrik Nagy), pp. 163-180 (2019), Nova Science Publishers, Inc.
- [13] <https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000101402.pdf> (2019 年 8 月 24 日閲覧)
- [14] https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/ (2019 年 8 月 24 日閲覧)
- [15] http://classnk-rd.com/assets/pdf/katsudou201806_C.pdf#search=%27IMO+%E4%BA%8C%E9%85%B8%E5%8C%96%E7%82%AD%E7%B4%A0%E6%8E%92%E5%87%BA%E3%82%BC%E3%83%AD%27 (2019 年 8 月 24 日閲覧)
- [16] <https://www.nyk.com/csr/pdf/SES2050.pdf> (2019 年 8 月 24 日閲覧)
- [17] 小林秀昭, 早川晃弘, カーボンフリーアンモニア燃焼, *日本燃焼学会誌*, 第 58 巻, pp. 41-48 (2016).
- [18] Haruo Mimura, Kohei Hirono, Yoshiji Yano, and Noriyuki Endo, Application of Blue LED Irradiation to Antifouling of a Ship's Bottom, *Proceedings of OSEANS'15 MTS/IEEE Genova*, various 4 pages (2015)
- [19] Kohei Hirono and Haruo Mimura, Prevention effect of LED blue light irradiation on the

settlement of cyprids, Proceedings of OSEANS'15 MTS/IEEE Aberdeen, various 4 pages (2017)

[20] Haruo Mimura and Kohei Hirono, Application of blue LED light to the prevention of barnacle larval settlement, In Barnacles: Recent Progress in Biology and Antifouling (Editors: R. Kado, H. Mimura, and N. Endo), pp. 157-173 (2018), Nova Science Publishers, Inc.

.....

9. 事務局からのお知らせとお願い

9. 1 関東支部の年会費、終身会費(70 才以上の方)の納入のお願い

関東支部運営の中で定時総会の他に “関東支部便り” の年 2 回発行等により会員相互の交流・親睦を図っており、これらの経費には皆様からの支部年会費(千円/年)を充当しています。同封の払込取扱票に必要事項を記入して “ゆうちょ銀行” で払込して下さいますようお願いいたします。

尚、ゆうちょ商品の送金サービス料金が本年 4 月 1 日より通常払込みが窓口の 130 円が 200 円に、ATM の 80 円が 150 円に、それぞれ 70 円の値上げになりました。現在 80 名の方から先納頂き累積金額は 233 千円に上ります。記録も万全を期しますので複数年で入金下さいますようお願いいたします。

名称が変わっても、深江に学ぶ後輩たちのために、関東支部活動もご支援下さいますよう重ねてお願い致します。

今年度および来年度以降の支部年会費を先納頂いた方には、払込取扱票の同封はなく、宛先の下学籍番号に続く英小文字で支部年会費を先納している年を表示しています。英小文字 n は本年度(令和元(平成 31)年度)、o は来年度、p は再来年度…と順次表しています。なお、終身会費を納入頂いた方には「寿」を付記しておりますので、ご確認願います。

9. 2 同窓生のネットワーク体制をより確固とするためにも、各クラス会の幹事役の方は E-mail のアドレスを事務局に連絡願います。

また、郵便物(メール便など含む)が不達となった方には案内・関東支部便りなどの発送を中止しています。ご存知の方は連絡願います。

『会員の名簿は、関東支部に連絡があれば都度訂正していますが、名簿からの漏れ、不達を避けるためにも、同窓生で“海神会便り”“関東支部便り”を受け取っていない方をご存じの方は事務局に連絡下さいますようお願いいたします。なお、会員名簿は原則非公開であることをご了承ください』

9. 3 神戸大学東京六甲クラブは事務所を交通至便の日比谷(帝劇 B2F)に構えており、興味深いテーマで大学に縁のある講師を招いての木曜会(18～)、昼食時間を利用した話題性あるテーマの特別火曜会(12～)、正月の新年互礼会、7 月のビアパーティー、8 月の木曜会での学長講演、12 月の忘年会、この他若手の会、JAZZ 共催コンサート、映画会など多種多様の行事、囲碁クラブ、ゴルフクラブ、書道クラブなどのクラブ活動も行っています。海神会からは 30 名強の方からご協力戴いています。当クラブロビーを利用して友達との待ち合わせ・歓談など気軽にクラブライフ充実の一環に加えて下さいますと幸いです。

海神会関東支部(神戸大学海事科学部同窓会関東支部)

事務局 (議案書の作成、会員動向の整理、総会の案内などの通信業務、本部との連絡など)

住所: 〒373-0817 群馬県太田市飯塚町 1084-36

田中 貴雄 (海神会関東支部 理事・事務局長)

.....